



## 下水汚泥灰からの高効率リン回収方法の開発と重金属除去

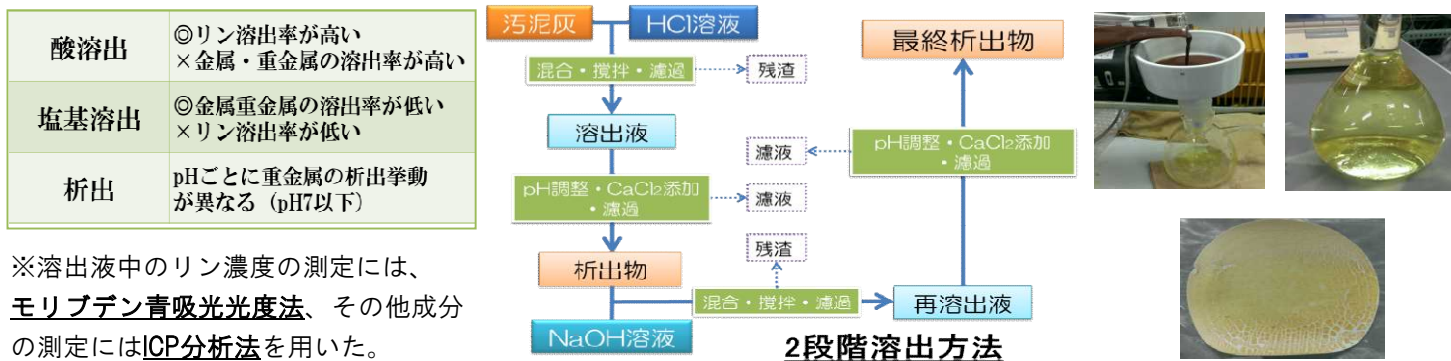
折原 雄也<sup>1</sup>, 村上 弘英<sup>1</sup>, 安宅 謙介<sup>1</sup>, 大武 日文<sup>2</sup>, 埴 翔平<sup>3</sup>, 狩野 直樹<sup>1</sup>, 金 熙濤<sup>1</sup>

\*1 新潟大学工学部化学システム工学科 \*2 新潟大学工学部建設学科 \*3 新潟大学大学院自然科学研究科材料生産システム専攻

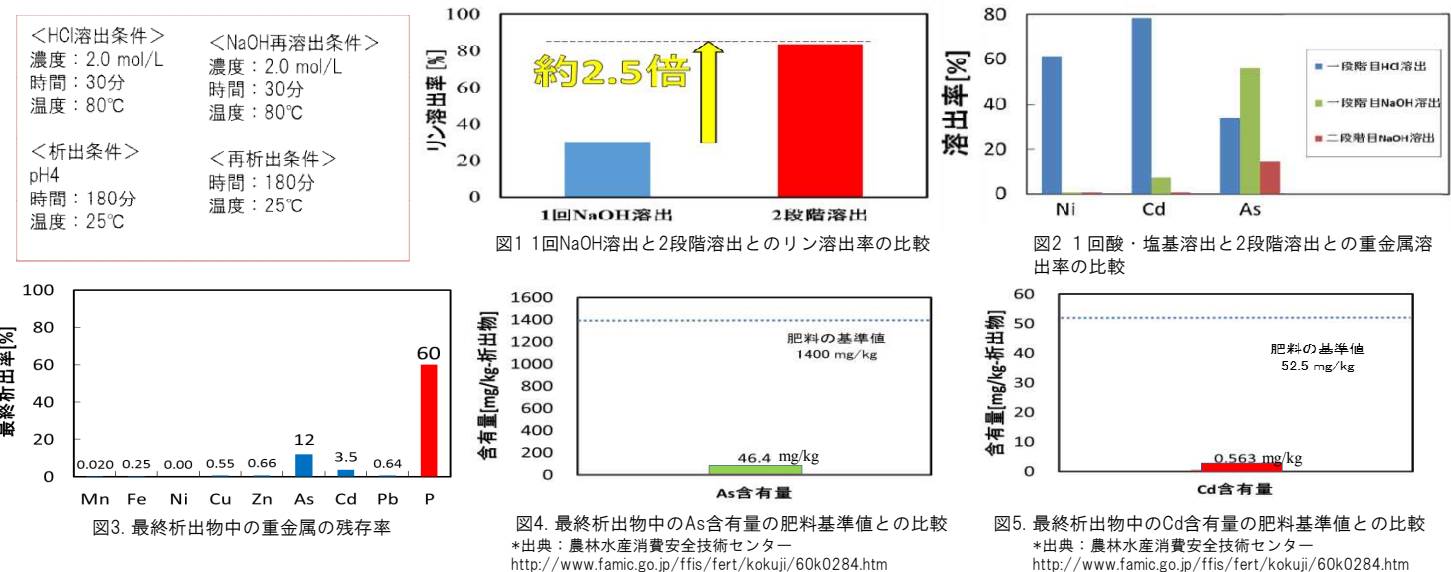
### 背景・目的



### 実験方法



### 実験結果



### 結言

- ◎1回塩基溶出でのリン回収率は約35%であり、2段階溶出方法ではその約2.5倍となった。
- ◎2段階溶出方法で得られた溶出液では1回酸溶出と1回塩基溶出よりも含有重金属量は少なくなった。
- ◎最終析出物の重金属の残存率(含有率)は肥料基準値以下であった。

本技術の問い合わせ先 新潟大学 産学地域連携推進機構  
TEL: 025-262-7554 FAX: 025-262-7513 E-mail: onestop@adm.niigata-u.ac.jp